

発行日 1997年12月1日  
発行元 株式会社  
オリジン・コーポレーション  
代表取締役：杉井保之  
〒426 静岡県藤枝市大東町777-1  
TEL 054-636-4300 FAX 054-636-6187  
http://www6.shizuokanet.or.jp/origin

# こおろぎ

## サンタさんって誰？

ある年のクリスマスの午後、娘と車で街まで買い物に出掛けました。

巷はクリスマスでにぎわい、学校ももう冬休みだというのに、助手席に座っている小学校3年の娘は、目を輝かせるでもなくじっと黙っています。

せっかくの父娘二人きりの買い物を楽しもうと「今年はサンタに何を頼んだの？」と、話しかけてみるのですが、少し笑顔を作って「何でもいい・・・。」

と答えただけで、心はどこか遠くをさ迷っている様子です。

少し心配に思いながら黙ってそのまま運転していると、娘が思い詰めた様子で

「お父さん、サンタさんって本当にいるよね？」

と、突然私に話かけてきました。

その目には涙がたまっていて今にもこぼれ落ちそうです。

一瞬、状況がわからなくて黙っている私に

「クラスの皆がサンタなんていないって言うの」

「サンタを信じているなんて子供だっていじめるの」

と娘は続け、その目からは大粒の涙が流れ落ちていました。

そして更に

「お父さんは、サンタさんはいるって言ったよね。」

「私はお父さんの言ったことを信じるわ。なのに皆は私のことを子供だっていうの。ねえ、サンタさんは本当にいるよね？」

私は車を道路の脇に停め、少し答えを考えてから娘の方を見て話始めました。

「お前ももうそんな歳になったんだね。それじゃあ、本当のことを話そう。」

「確かにサンタはいるよ！」

「サンタさんってね、元はセント・ニコラウスっていう神父さんで、その人が貧しい人達のお世話をしたり、食べ物をお届けしたりしていたのが全国に伝わっていったんだよ。

その人はもう死んでしまっていないのだけれども、そのプレゼントをもらった人、その話を聞いた人達がまた他の人達にプレゼントをあげるようになって世界中に広がっていったんだ。

お前も大きくなったからわかってくれると思うけど、今日まで毎年お前のところにクリスマスプレゼントを持って行ってたのは、クラスの友達と言う通りお父さんとお母さんだ。でもお父さんとお母さんの心の中には確かにサンタさんは生きているんだよ。そして、そのことを知った今日からはお前の心の中にもサンタさんは生き続けるんだ。お前が人を愛し、人に愛を届けるサンタさんになる時がきたんだよ。いいかいそうやって、さっといつかこの世の中がサンタさんで一杯になるんだ。」

娘は涙一杯の目で明るくははほほ笑い、二人を乗せた車はクリスマスの街の中へ走って行った。

.....

こんな話って、全くの夢なのでしょうか？

私は、政治家や特別な力を持ったリーダーがこの世の中を変えていく時代はもう終わりにしたいと思っています。そうした人に頼ったり、そうした人を追いかけること自体が現在の問題を生んでいるのではないのでしょうか？

人それぞれ考え方の違いはあるでしょうが、今共に生きている周りの人に笑顔で接すること。今日お世話になった人に「ありがとう」のはがきを書くこと。そうした人達が増えていくことが、この世の中を変えていくのではないかと思うのです。

私はサンタになりたいです。

皆さんにとって、今年はどうな一年だったでしょうか？  
今年も色々なことがあり、来年には日本全体を大きな波が襲うかも知れませんが、どんなに嘆いても、誰かのせいにしても、起こる波は起こります。アドラー心理学の創始者であるアルフレッド・アドラーは「何が起きたかが問題ではなく、それに対してどう対応していくかが問題であり、自分が不完全であることが問題ではなく、その自分でどう生きていくかが問題なのだ」と言っています。  
新年を迎えるにあたり、今回「こおろぎ」という名前をつける理由のひとつとなった詩をご紹介します。

### 二度とない人生だから

- 二度とない人生だから  
一輪の花にも無限の愛を注いでいこう  
一羽の鳥の声にも無心の耳を傾けていこう
- 二度とない人生だから  
一匹の「こおろぎ」でも踏み殺さないように  
心していこう どんなにか喜ぶことだろう
- 二度とない人生だから  
一編でも多く便りしよう  
返事は必ず書くことにしよう  
貧しいけれど心豊かに接していこう
- 二度とない人生だから  
つゆ草のつゆにも、めぐりあいの不思議を思い  
足をとどめて見つめていこう
- 二度とない人生だから  
昇る日、沈む日、まるい月、欠けていく月  
四季それぞれの星々の光にふれて  
我が心を洗い清めていこう  
私が死んだら、後を継いでくれる若い人たちのために  
この大願を書きつづけていこう
- 二度とない人生だもの

坂村真民 作

この詩を書かれた坂村真民先生は「たった一人の自分が、たった一度しかない人生を本当に生かすことができなかつたら、人間に生まれてきた甲斐がないじゃないか。鳥は飛ばねばならぬ。人は生きねばならぬ。」ともおっしゃっています。  
決して楽な道ではなくても、後悔のない人生を刻んでいきたいと思えます。どうぞ良いお年をお迎えください。

今月の活動情報			お問い合わせはお電話で...
日程	内容	主催者・会場	
11 / 28 (金)	「人生を生きる力」	(藤枝市岡部町教育委員会)	
11 / 30 (日)	「組織の中の人間関係」	(香川県アドラーの会)	
12 / 1 (月)	一日ワークショップ	(徳島アドラー勉強会)	
12 / 4 (水)	「好ましい親子関係」	(相良町萩間小学校)	
12 / 6 (土)	萩さん忍ちゃん講演会	(オリジン)	
12 / 7 (日)	マネージメント・ゲーム	(オリジン)	
12 / 8 (月)	「心のキャッチボール」	(石川県こおろぎの会)	
12 / 10 (水)	「初めの一歩」	(西部こおろぎの会)	
12 / 16 (火)	びゅあの集い	(オリジン)	
12 / 21~23	合宿経営計画作成会	(オリジン)	
12 / 25 (木)	クリスマス子供映画会	(オリジン)	
12 / 31 (水)	年末募金		